大田区訪問介護事業者連絡会
平成２７年度活動報告

１　まえがき

平成 22 年 3 月 18 日の設立より、関係各所はじめ大田区内の訪問介護事業所のご協力により、6 年が過ぎました。

平成 27 年度は、介護報酬改定後の 2025 年地域包括ケアシステム構築に向けた年にあたり、大田区内の訪問介護事業所をはじめ当連絡会においても、特に予防訪問介護に代わる「介護予防・日常生活支援総合事業」において、平成 26 年度より大田区への意見集約や提言を各連絡会と連携して取り組み、大田区は平成 28 年 4 月実施となりました。

またこれ以外にも「会員相互の積極的かつ有用な情報交換」「業務効率化への取り組み」「人材確保への取り組み」「サービス提供責任者の地位向上」「会員の意見集約の充実」「ヘルパー向けの研修会」に取り組んできました。

２　活動報告

（１）　運営委員会の開催

運営委員による運営委員会を毎月１回程度実施しました。本連絡会の運営に関する協議や会員の意見集約、各種イベント開催に向けた準備・検討・アンケートの取りまとめ、広報活動などを行いました。

（２）　定期連絡会

平成 27 年度は、以下のテーマで定期連絡会を実施しました。

	日時	テーマ	参加人数
総会・ 第１回 定期連絡会	H27.5.21	「介護報酬改定のポイント整理」 株式会社ケアサービス　鈴木智也氏 「リハビリテーションの推進と連携のあり方」 大田区理学療法士会　会長　友清　直樹氏	８５名
第２回 定期連絡会	H27.10.27	テーマ：「サービス提供責任者が知っておきたい 看取り介護の基本」 田園調布医師会立訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師　渡邉　由美氏	８０名
第３回 定期連絡会	H28.3.4	テーマ： 「大田区　介護予防・日常生活支援総合事業について」 大田区高齢福祉課 係長　久保氏・高橋氏	８７名

（３）　大田区との懇談会

平成 27 年 6 月 24 日、大田区役所付近の会場にて大田区福祉部と大田区訪問介護事業者連絡会との懇談会が行われました。当日は、大田区から 小泉課長をはじめ 11 名が参加、連絡会からは 12 名が出席し、活発な意見交換をしました。特に総合事業移行に関する内容や大田区の介護保険給付費の状況や法令順守、家族介護者支援ホーム

ヘルプサービス、地域密着型サービスなどについて意見交換しました。

（４）平成 27 年度地域別ヘルパー向け合同研修会(介護現場で必要な薬の知識)の実施
平成 27 年度事業計画に基づき、ヘルパー向けの研修会を地域別に 7 月 9 日(障がい者総合サポートセンター)・10 日(特別養護老人ホーム蒲田)において、夫婦橋ファーマ株式会社代表 永島正敏氏を講師に介護現場における薬に関して、体験を交えながら開催いたしました。両日合わせて 70 名ほどの参加がありました。

（５）他団体との連携
他の連絡会等との連携で、以下のような取り組みが行われました。

① くらし健康あんしんネットおおた　区民公開講座の開催
平成 28 年 2 月 13 日、大田文化の森にてくらし健康あんしんネットおおた（区民公開講座）が行われました。認知症高齢者が介護保険への導入に関する寸劇と映像（映像は当連絡会作成）をはじめ、シンポジウムが行われ、運営委員が協力・参加を致しました。

② 「住んでヨシ！働いてヨシ！おおた福祉フェス 2015」の開催
今回で 2 回目となるおおた福祉フェスは大田区と大田区介護保険サービス団体連絡会とが共催となり、それぞれの持つ知識・技術を広く区民に情報発信する目的で平成 27 年 9 月 7 日大田区区民プラザアプリコにて開催。介護に関する知識・技術の普及・啓発を一般区民や家族介護者、介護従事者が気軽に介護の世界に溶け込めるような「場」の提供や「地元」での「働く場・人」をつなぐ機会を設け、ラビット番長による介護現場の公演、熊谷頼佳 Dr による認知症講演、各連絡会等の展示・ミニ講座、協賛企業の出展、仕事相談エリアを設け、昨年以上の多くの方の来場がありました。

③ 大田区福祉従事者交流会の開催
平成 27 年 1 月 25 日大田区民プラザにて、第 6 回大田区福祉従事者交流会を開催。今回は当連絡会と大田区福祉用具事業者連絡会と共同で企画・運営を行い、150 名を超える幅広い福祉医療・行政関係との交流等を行いました。

④ 『つながろう・考えよう・「地域」で「福祉」～地域福祉活動交流会～』の参加
平成 28 年 2 月 12 日大田区産業プラザ Pio 小展示ホールにて、高齢者や障がい者、子どもとその親たちが安心して暮らせるまちづくりとして、大田区地域福祉計画推進事業として開催。当連絡会もブースを設けて、活動に参加しました。

⑤ 第 4 回大田区介護支援ネットワークシンポジウムの参加と協力
平成 27 年 7 月 14 日大田区消費者生活センターにて『第 4 回大田区介護支援ネットワークシンポジウム』を開催。『地域支援事業の移行に伴って～大田区の地域包括ケア実現に向けて』と題して、大田区、各連絡会等からシンポジストを招き、当連絡会から徳永副会長がシンポジストとして活発な意見交換を行いました。

⑥ おおた介護のお仕事定例就職面接会
大田区における介護サービスの魅力の PR とともに、福祉の仕事に理解・興味のある新たな人材の掘り起こしを含め、大田区介護保険サービス団体連絡会が大田区とハローワーク大森共催で「おおた介護のお仕事定例就職面接会」を平成 28 年 4 月より開催することなり、当連絡会も企画等に携わりました。今後月 1 回ハローワーク大森にて実施します。

（５）広報活動

本連絡会のホームページの作成活動、ならびに平成 27 年 7 月 22 日より Facebook を立ち上げて当連絡会の活動状況や大田区の各連絡会からの情報や介護関連情報の発信を行っております。特にホームページにおきましては、現在約 42,000 件を超えるアクセス数があります。『URL:http://www.ota-kaigo.net』

また、会員事業所の増加をめざし、連絡会紹介チラシを作成。連絡会の紹介と加入促進を行いました。

（６）その他

②大田区介護功労者・介護功労事業者表彰への協力

大田区が実施している「大田区介護功労者・介護功労事業者表彰」に大田区訪問介護事業所連絡会から介護サービス功労事業者を推薦し、受賞となりました。平成 28 年 1 月 25 日に大田区民プラザにて授賞式が行われました。

③ 忘年会の開催

平成 27 年 12 月 16 日に忘年会を開催しました。区内訪問介護事業所をはじめ他の団体からも多数ご参加いただき、親睦を深めました。

④「介護サービスにおける ICT 活用や作成文書の半減などによる事務負担の軽減」に向けた提言の提出について

国が行う一億層活躍会議の議論において「介護離職ゼロ」に向けた重点施策の一環として「介護サービスにおける ICT 活用や作成文書の半減などによる事務負担の軽減」が位置づけられ、介護現場職員の業務負荷が大きい文書作成等の事務をプロセス見直しや ICT 活用により業務効率化と生産性向上を図る上で、今後本施策の調査・研究、モデル等が本格化するにあたり、当連絡会から各事業者向けに意見集約をさせて頂き、平成 28 年 3 月 2 日に厚生労働省へ提言を提出しました。

３　現在の加入状況

（１） 加入事業者数　１０７事業所